

第2回 Household Finance コンファレンス開催のお知らせ

近年、学術研究のテーマとしての個人・家計の金融行動や金融リテラシーに関する関心が広がりを見せており、また我が国における政策課題としての重要性も高まっています。そのような状況を背景として、我々がオーガナイズした最初の Household Finance に関するコンファレンスを 2017 年 1 月に開催しました。第 1 回目のコンファレンスとしては十分に成功を収めましたので、今年度も下記の様にコンファレンスを開催することといたしました。

つきましては、オーディエンスとして出席をご希望の方は、2018 年 1 月 12 日(金)までに、事務局までメールでご連絡ください (jhousehold.portfolio@gmail.com)。なお現時点では、論文の討論者が一部確定しておらず、今後、発表の順番が一部前後する可能性があることをご承知おきください。多くの皆さまの出席をお待ちしています。

2017 年 12 月 21 日

祝迫得夫 (一橋大学)・家森信善 (神戸大学)

第2回 Household Finance プログラム

(tentative: 12 月 23 日現在)

日時： 2018 年 1 月 20 日 (土) 13:00-19:30

場所： 一橋講堂 1 階 特別会議室

12:45 より 開場・参加登録

第一部 研究発表 (1)

13:00-13:10 開会の挨拶 家森信善 (神戸大学)

13:10-13:40 瀧塚寧孝 (日本銀行)

「家計の資産選択行動—動学的パネル分析を用いた資産選択メカニズムの検証」
(伊藤雄一郎・藤原茂章と共著)

13:40-14:00 討論者：(祝迫得夫 一橋大学)

14:00-14:10 一般討論 (Q&A)

- 14:10-14:40 永易淳（東北大学）
“Intra-temporal Substitution between Tradable and Non-tradable Goods: Evidence from Japanese Survey Data”
- 14:40-15:00 討論者：北村行伸（一橋大学）
- 15:00-15:10 一般討論（Q&A）
- 15:10-15:45 コーヒーブレイク

第二部 研究発表（2）

- 15:45-16:15 小野有人（中央大学）
“Disentangling the effect of housing on household stockholdings: Evidence from Japanese micro data”
(with Tokuo Iwaisako, Amane Saito and Hidenobu Tokuda)
- 16:15-16:35 討論者：To be confirmed
- 16:35-16:45 一般討論（Q&A）
- 16:45-17:15 藤木裕（中央大学）
“How do we choose to pay using evolving retail payment technologies? Evidence from Japan”（with Migiwa Tanaka）
- 17:15-17:35 臼井恵美子（一橋大学）
- 17:35-17:45 一般討論（Q&A）
- 17:45-18:00 第一部の総括 祝迫得夫（一橋大学）

第三部：一般討論

- 18:00-19:30 一般討論（light meals will be provided）
- 19:25-19:30 閉会の挨拶 祝迫得夫（一橋大学）

Last update: 12/21/2017